

社会資本総合整備計画 事後評価シート

「JR暘谷駅周辺の交通結節点機能の 向上と賑わい空間の創出」

平成23年度～平成28年度

平成30年3月

大分県日出町

様式2-1 評価結果のまとめ

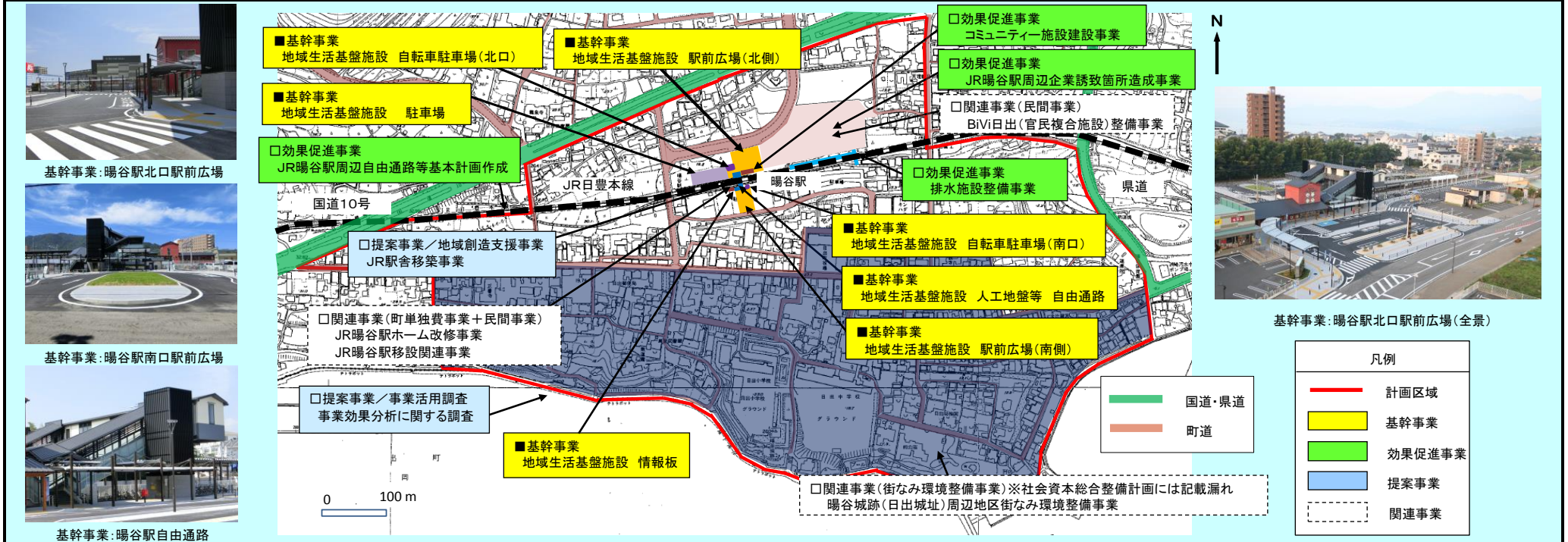
都道府県名	大分県	市町村名	日出町	計画名	JR暘谷駅周辺の交通結節点機能の向上と賑わい空間の創出			面積	50ha	
交付期間	平成23年度～平成28年度	事後評価実施時期	平成28年度～平成29年度	交付対象事業費	1,039.2百万円	国費率	0.4			
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	事業名								
		基幹事業	【都市再生整備計画事業】地域生活基盤施設(駅前広場(北側)、駅前広場(南側)、駐車場)、高次都市施設(自由通路)							
		提案事業	なし							
		関連社会資本整備事業	【道路事業】(他)寺町線(宮町工区)							
	効果促進事業	コミュニティ施設建設事業、JR駅舎移築事業、排水施設整備事業、事業効果分析に関する調査								
	当初計画から削除した事業	事業名								
		基幹事業	【都市再生整備計画事業】高次都市施設(自由通路)		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
		提案事業	なし		-			-		
		関連社会資本整備事業	【道路事業】(他)寺町線(宮町工区)		事業用地取得の見込みがなくなったため。			指標3及び4に影響を与える可能性も考えられるが、中心部へのアクセスする際のバイパス道路を整備する計画であり、既存道路があるため、目標、指標、数値目標への影響はないものと考えられる。		
	効果促進事業	JR駅舎移築事業 事業効果分析に関する調査		効果促進事業から提案事業へ事業を移行したため。			事業は実施したため、影響なし。			
	新たに追加した事業	基幹事業	都市再生整備計画事業	①地域生活基盤施設(自由通路) ②地域生活基盤施設(北口自転車駐車場) ③地域生活基盤施設(南口自転車駐車場) ④地域生活基盤施設(情報板)	①交付要綱の改正に伴い、高次都市施設から地域生活基盤施設へ移行したため。 ②、③、④当初、駅前広場(北側)及び(南側)に組み込んで考えていたが、事業の細分化を行ったため。			①、②、③、④事業は従前より実施する予定であったため、影響なし。		
		提案事業	【地域創造支援事業】JR駅舎移築事業 【事業活用調査】事業効果分析調査		効果促進事業から提案事業へ事業を移行したため。			事業は従前より実施する予定であったため、影響なし。		
関連社会資本整備事業		なし		-			-			
効果促進事業		①JR暘谷駅周辺自由通路等基本計画作成 ②JR暘谷駅周辺企業誘致箇所造成事業		①駅利用者の利便性を向上し、交通結節点としての機能をもった都市環境の形成を図るため。 ②北口駅前広場に隣接する土地を造成し、企業誘致を行うことで、駅周辺の賑わいの創出及び駅利用者の利便性の向上を図るため。			指標1、3及び4に影響を与えられられるが、数値目標の修正は据え置くものとする。			
交付期間の変更	当初	平成23年度～平成27年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響	影響なし					
	変更	平成23年度～平成28年度								

	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
	指標1	単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
2) 社会資本総合整備計画に記載した指標を定量化する指標の達成状況	指標1	歩行者・自転車通行量	人/日	253	H22	400	H28	-	664	○	あり なし	南北駅前広場等の整備による交通結節点機能の向上や企業誘致により、中心市街地の通行量が増えた。
	指標2	車道停車数	台/日	100	H22	50	H28	-	28	○	あり なし	南北駅前広場等の整備により、車道での停車数が減った。
	指標3	自由通路利用者数	人/日	-	-	1,000	H28	-	843	△	あり なし	電車を利用する側の駅前広場で乗降といった形のキス&ライドでの駅利用者が多かったため、利用者数が伸び悩んだ。
	指標4	暁谷駅乗降客数	人/日	1,620	公表H21 (データH20)	1,720	H28	1,589	1,628	△	あり なし	交通結節点機能としての強化や中心市街地の活性化による一定の効果は得られた。
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
	その他の数値指標1	町道暁谷駅北口線における自動車通行数	台/日	1,692	H23	/	/	/	/	南北駅前広場等の整備による交通結節点機能の向上や企業誘致により、中心市街地の通行量が増えた。		
	その他の数値指標2	暁谷駅の利用満足度(暁谷駅利用者)	%	42	H23	/	/	/	/	南北駅前広場等の整備による交通結節点機能の向上により、駅利用者の満足度が向上した。		
	その他の数値指標3	暁谷駅の利用満足度(暁谷駅周辺住民)	%	38	H23	/	/	/	/	南北駅前広場等の整備による交通結節点機能の向上により、駅周辺住民の満足度が向上した。		
	その他の数値指標4	駅圏域(概ね2km)内人口	人	11,065	H22	/	/	/	/	南北駅前広場等の整備や企業誘致による中心市街地の活性化により、駅圏域内の人口が増えた。		
	その他の数値指標5	BiVi日出(官民複合施設)の利用者数(交流人口)	人	-	-	/	/	/	/	南北駅前広場等の整備による交通結節点機能の向上や企業誘致により、新たな交流人口を生むことができた。		
	その他の数値指標6	町立図書館における図書貸出数	冊/年	73,822	H22	/	/	/	/	南北駅前広場等の整備による交通結節点機能の向上や企業誘致により、新たな交流人口を生むことができた。		
	その他の数値指標7	暁谷駅におけるバス運行本数	便/日	14	H22	/	/	/	/	南北駅前広場等の整備による交通結節点機能の向上により、バス運行本数が増えた。		
	その他の数値指標8	日出城址周辺の観光客数	人/年	28,022	H22	/	/	/	/	本事業と関連して行っていた街なみ環境整備事業により、日出城址周辺の観光客数が増えた。		
4) 定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・まちの中心部における空間空白が無くなったことで、活気あるまちのイメージが創造された。また、町の施策方針の明確化が周知された。 ・交流人口の増加により、BiVi日出内の町内業者等を中心に収益増が見込まれる。 ・駅前広場等の整備により、日出町のシンボリックな場所となった。 ・町内にある株式会社サンリオエンターテインメントが運営しているハーモニーランドと連携事業を行い、暁谷駅コミュニティ施設でのキャラクター装飾、北駅前広場でキャラクターイルミネーションの実施等したことで、ハローキティなどサンリオキャラクターを町の顔としてPRすることができ、中心市街地の活性化及び観光客誘致が図られた。 											
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	なし		社会資本総合整備計画に記載し、実施できた 社会資本総合整備計画に記載はなかったが、実施した 社会資本総合整備計画に記載したが、実施できなかった								
	住民参加プロセス	新駅前広場等を計画する際に、暁谷駅利用者及び暁谷駅周辺地域住民に対してアンケート調査を行い、計画の策定等実施した。		社会資本総合整備計画に記載し、実施できた 社会資本総合整備計画に記載はなかったが、実施した 社会資本総合整備計画に記載したが、実施できなかった				今後も、積極的に町民の意見を聞いて、利用促進を図る。				
		BiVi日出の2階にある交流ひろばHiCaLi(日出町立図書館を含む多目的スペース)の計画に際し、町教育委員会、各種ボランティア団体・個人等と意見交換会を実施、ホームページで新図書館に対する意見を募集、交流広場の名称を公募するなど実施した。		社会資本総合整備計画に記載し、実施できた 社会資本総合整備計画に記載はなかったが、実施した 社会資本総合整備計画に記載したが、実施できなかった				今後も、積極的に町民の意見を聞いて、利用促進を図る。				
		図書館の運営では、子育て支援の一環として本の読み聞かせや返却された本の書架整理、また、あわせて町内の赤ちゃんに絵本を手渡すブックスタート等をボランティアが実施している。当該活動が、魅力的な図書館の運営に貢献し、継続的なまちづくりや子育て支援の強化、中心市街地の活性化に寄与している。		社会資本総合整備計画に記載し、実施できた 社会資本総合整備計画に記載はなかったが、実施した 社会資本総合整備計画に記載したが、実施できなかった				今後も、積極的に町民の意見を聞いて、事業に活かしていきたい。				
	持続的なまちづくり体制の構築	交流ひろばHiCaLi(日出町立図書館を含む多目的スペース)の開館により、子育て支援室及び一時預かり室を設置し、NPO法人パワーウェブ日出が運営している。当該活動が、継続的なまちづくりや子育て支援の強化に寄与している。		社会資本総合整備計画に記載し、実施できた 社会資本総合整備計画に記載はなかったが、実施した 社会資本総合整備計画に記載したが、実施できなかった				今後も、積極的に町民の意見を聞いて、事業に活かしていきたい。				

様式2-2 地区の概要

JR陽谷駅周辺の交通結節点機能の向上と賑わい空間の創出(大分県日出町) 社会資本整備総合交付金事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値				
[大目標]「日出町の顔」・「交通結節点」・「集い交流する賑わいの空間」となる中心市街地の利便性の高い都市環境の向上を図り、快適で個性ある生活都心づくりを目指す。 目標1: 駅利用者の利便性や安全性を向上し、交通結節点としての機能をもった都市環境の形成を図る。 目標2: 集い・交流する賑わいの空間の創出から、駅前交流人口の拡大を図るとともに、歴史的文化遺産を活かした観光交流への拡大も図る。 目標3: 買い物や生活サービスの利便性を確保するための、施設整備をおこない、中心市街地全体の活性化を図る。	歩行者・自転車通行量	単位 : 人/日	253	H22	400	H28	664	H28
	車道停車数	単位 : 台/日	100	H22	50	H28	28	H28
	自由通路利用者数	単位 : 人/日	-	H22	1,000	H28	843	H28
	陽谷駅乗降客数	単位 : 人/日	1,620	H21	1,720	H28	1,628	H28



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 南北駅前広場等の整備、企業誘致等により、地区内の交流人口が増えるとともに、日出町の玄関口や新しい顔として明確な中心核が認知された。 南北駅前広場、自由通路、駐車場等の整備により陽谷駅が町内で初めてエレベーター設備を備えたバリアフリー駅となるなど、交通便利性・安全性、施設利用率の向上など交通結節点機能の強化が図れた。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 新たに整備された町の核となる空間のさらなる有効活用を図るために、交通事業者との継続協議、公共交通網計画の作成、コミュニティ施設等を活用した観光PR、マナー向上活動などを含めた広報活動、イベントの実施等を行い、さらなる来訪者(交流人口)の増加を図る。 既存商店街のにぎわいづくりを図るために、イラストマップの作成、商店街を挙げたイベントの開催、参入企業等を促すための各種補助事業、PR活動等により、観光客や地元の人々を既存商店街に集め、賑わいを創出していくためのPRを強化する。 駅南側地区のさらなる有効活用と活性化を図るために、区内町道や駅アクセス町道の道路改良等により、安全な歩行空間の確保や回遊性のある交通ネットワークの形成を促進する。 公共施設の利用マナーの向上を図るために、マナー向上活動を実施する。 以上の方策を中心に今後のまちづくりを行っていききたい。